

東京女子医科大学雑誌

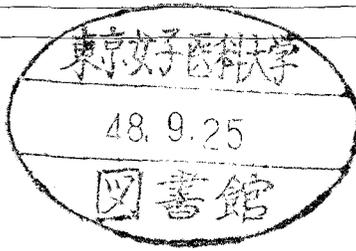
JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL COLLEGE

第43巻

昭和48年8月25日発行

第8号

目次



〔原著〕

アミノ酸代謝異常とRNA

第2報 RNA分画および塩基組成に及ぼす

6-アザウラシルの影響 山口 知子...621~628

窒息時の血液ガス動態に及ぼす Guanylthiourea の影響 沢口 彰子...629~634

Barré-Lieou 症候群を呈する頭・頸部外傷の臨床的研究 毛利 泰子...635~651

高脂血症を伴える動脈硬化症におけるコレキサミン〔2, 2, 6, 6

-Tetrakis (Nicotinoyloxymethyl) Cyclohexanol〕の使用知見

(血清脂質, 線容系, 凝固系, 指尖容積脈波に及ぼす影響

について) 小山 千代・竹宮 敏子, 荻 三男・

所沢 好子・阿部 澄子・渡辺 良子・

中村恵美子...652~663

ハムスターの G-strophanthin の感受性に及ぼす thyroxine

投与の影響 小関 温子...664~672

〔症例検討会〕

心臓手術と妊娠 673~678

〔学会〕

東京女子医科大学学会 第182回例会抄録 679~682

〔雑報〕

〔付録〕

学位論文内容の要旨および審査の結果の要旨 (第12集) 685~764

本誌略名
東女医大誌
J Tokyo Wom
Med Coll

東京女子医科大学学会

SOCIETY OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL COLLEGE

東京都新宿区河田町10 東京女子医科大学図書館内

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL COLLEGE

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Vol. 43

August, 1973

No. 8

CONTENTS

Originals

Amino acid metabolism and RNA

Part II. Effect of 6-azauracil on individual RNA syntheses

and their base components.....Tomoko YAMAGUCHI...621~628

The effect of guanylthiourea on blood gas in suffocation.....Akiko SAWAGUCHI...629~634

A clinical study on Barré-Lieou syndrome due to post-traumatic encephalopathy

and traumatic cervical syndrome.....Hiroko MOHRI...635~651

Clinical experiences of Cholexamin administration on atherosclerosis with hyperlipemia.

(The effects on blood plasma lipids, fibrinolysis, coagulation

and plethysmography).....Chiyo KOYAMA, Toshiko TAKEMIYA,

Mitsuo OGI, Yoshiko SYOZAWA, Sumiko ABE, Yoshiko WATANABE,

Emiko NAKAMURA...652~663

Influence of thyroid function on sensitivity to G-strophanthin

in hamsters and rats.....Atsuko OZEKI...664~672

Clinico-Pathological Conference (87)

Cardiac surgery and pregnancy.....673~678

Proceedings

The 182nd Meeting of Society of Tokyo Women's Medical College.....679~682

Appendix

Résumés of dissertation—Vol. 12.....685~764

Society of Tokyo Women's Medical College

Tokyo Women's Medical College Library

10 Kawadacho, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan

〔雑 報〕

○例会（182回）4月27日ストのため延期

日 時 昭和48年5月11日（金）午後1時30分より

場 所 東京女子医科大学 本部講堂

演題11題

○例会（183回）

日 時 昭和48年5月22日（火）午後1時30分より

場 所 東京女子医科大学 本部講堂

演題10題

第12回吉岡研究、奨励金授与式、ならびに昭和47年度受賞者の研究発表あり。

○幹事会

日 時 昭和48年6月1日（金）午後3時より

場 所 東女女子医科大学中央校舎 学会室

議 題 東女医大誌 43巻8号編集論文7編と付録として学位論文内容の要旨および審査の結果の要旨（第12集）

編集後記

梅雨の末期の集中豪雨の時季となり、毎日雲か、スモッグか、霧の立ち込めた空を眺め、会員の皆様の御健康を祈ります。

本誌は会員諸氏の御努力により、順調に発展し、年間の総ページが着実に増加していくのは御同慶の至りです。編集会議にかかったものは直ちに印刷にまわし、大約3カ月後には別刷がお手許に届きますが、他の雑誌に比較して決して遅いものではないと自負しております。何とぞ今後も益々御投稿下さるよう願います。

(48. 6. 28. Y.M.)

国産初のセファレキシン製剤



〔特 長〕

- グラム陽性菌・陰性菌に殺菌的に作用します。
- 高い血中・臓器内濃度が得られ、その濃度は投与量に比例して上昇します。
- 活性的のまま尿中および胆汁中に高濃度に排泄されます。
- セファロスポリンC系以外の多剤耐性菌にも有効です。
- 毒性が少ない。

〔適 応 症〕

黄色ブドウ球菌、白色(表皮)ブドウ球菌、溶血レンサ球菌、緑色レンサ球菌、腸球菌、肺炎球菌、淋菌、大腸菌、クレブシエラ、クロアカ、エンテロバクター、プロテウス(レットゲレラ、モルガネラ)プロピデンシア、バイフェル菌のうち、セファレキシン感受性菌による感染症。

〔用法・用量〕

通常、成人および体重20kg以上の小児に対しては、セファレキシンとして、1回250mg(力価)を6時間ごとに経口投与します。ただし、年齢、体重、症状に応じて適宜増減してください。

〔貯法・有効期間〕 遮光して室温に保存してください。

有効期間は検定合格の翌月よりカプセル・18ヶ月、ドライシロップ・12ヶ月です。

〔包装〕 カプセル250mg(力価) PTP:100カプセル、ドライシロップ100mg(力価)/g 100g、1g×100包

「使用上の注意」については添付文書をご参照ください。



自社開発

フリキシン®

ORAL CEPHALOSPORIN LARIXIN®

富山化学
東京都中央区日本橋茅場町1-18

編 集 委 員

平	山	章	太	田	八	重	子
笠	井	和	佐	藤	イ	ク	ヨ
松	村	義	高	橋	文	子	
諸	岡	妙	竹	内	富	美	子
織	畑	秀	梅	津	隆	子	

A B C 順

昭和48年8月20日 印 刷

昭和48年8月25日 発 行

東京都新宿区河田町10番地
東京女子医科大学図書館内

発行所 東京女子医科大学々会

電話 東京(353) 8111番(代表)

〒162 内線 498 番

東京都新宿区戸塚町4丁目戸山アパート30-694

編 集 兼 佐 藤 イ ク ヨ
発 行 者

〒160 電話 東京(361) 6654番

東京都北区西ヶ原3丁目46番10号

印刷者 向 喜 代 次

印刷所 株式会社 杏 林 舎

〒114 電話 東京(910) 4311(代表)

東京女子医科大学雑誌規定

○会費払込は振替口座「東京4342」東京女子医大図書館内

東京女子医科大学々会宛のこと

○会費は毎年1月中に払込まれること

会 費	会 費	売 価
(前金)	1カ年 金2,500円	1部 金450円

東京都文京区本郷2の26-10大磯ビル
告 白 株式会社 大 矢 商 会
取 扱 者 電話小石川(813)7031-4番

学 位 論 文

内 容 の 要 旨
お よ び
審 査 の 結 果 の 要 旨

第 12 集

(昭 和 48 年 5 月)

東 京 女 子 医 科 大 学

は し が き

本集は学位規則（昭和28年4月1日文科省令第9号）第7条による公表を目的として昭和47年4月より同48年3月までの間に、本学で学位を授与した者の論文内容の要旨および審査の要旨を収録したものである。

目 次

医 学 博 士

掲載順位	学位授与番号	氏 名	論 文 題 目	頁
(1)	甲第70号	廖 蘇 純 淑	インスリン治療中の糖尿病患者における 血中インスリン動態……………	689
(2)	甲第73号	鈴 木 睦 郎	腹膜欠損による腹膜癒着防止法に関する 実験的研究（自家大網遊離移植法）……………	691
(3)	甲第74号	岡 田 忠 彦	膜型人工肺による肺補助—ことにそ の至適灌流法に関する実験的研究—……………	693
(4)	甲第75号	坂 本 和 子	巨大児分娩と糖尿病の発症ならびに 巨大児を分娩した糖尿病婦人の病態 に関する研究……………	695
(5)	甲第76号	長 崎 光 子	子宮頸癌における Reno-cysto-cardiogram の意義……………	697
(6)	甲第77号	萩 島 恭 子	點頭てんかんに於けるホルモン療法前、 並びにホルモン療法中の血漿中、髄液中 cortisol 濃度について I. 体液中 cortisol 濃度測定法の検討と 対照値並びに治療前點頭てんかん患 児の体液中 cortisol 濃度 II. 點頭てんかんに於ける合成 1-24 アミノ酸 ACTH-Z 連続投与、 cortisol 大量投与時の体液中 cortisol 濃度の変動……………	699
(7)	甲第78号	高 野 加寿恵	尿糖陽性者における糖尿病の診断に関する研究 —最近の新しい概念に基く診断基準の検討—…	701
(8)	甲第79号	坂 口 宇多彦	Fetal distress, Depression of Newborn に 対する Chlorpromazine 製剤の影響、 とくに血液ガス、血糖値の変動について……………	703
(9)	甲第80号	雨 宮 禎 子	PHA (Phytohemagglutinin) 細胞の早期形態学的変化の電子顕微鏡的観察…	705

(10)	甲第81号	林 美智子	小児における血清免疫グロブリンに 関する研究……………	707
(11)	甲第82号	尾曾越 香都子	耳真珠腫のタンパク成分について……………	709
(12)	甲第83号	泉 二 治 子	皮膚のアミノ酸について……………	711
(13)	甲第84号	神 田 郁 子	クロルプロマジンの胎盤通過性について……………	713
(14)	甲第85号	金 子 行 子	角膜ヘルペスに関する研究 I. 角膜ヘルペスウイルスの抗ウイルス剤 及びその他の薬剤に対する感受性について II. 角膜ヘルペス患者の血清及び涙液中 の抗体について……………	715
(15)	甲第86号	岡 寿 士	大量輸液による経胸壁インピーダンスの 変動について〈肺内水分貯溜量の測定〉……………	717
(16)	乙第 127号	今 村 栄三郎	同種および異種肺動脈弁と代用血管 による代用肺動脈の研究……………	719
(17)	乙第 128号	高 取 悦 子	糖尿病性網膜症の発生および進展 特に空腹時血糖値からみたコントロール の良否, 治療法並びに体重の調整との 関係について……………	721
(18)	乙第 129号	久保島 和 子	糖尿病患者の神経, 筋障害 その病理形態学的変化を中心として……………	723
(19)	乙第 130号	深 沢 純 子	點頭てんかんの臨床的治療的研究 第I編 対象例の神経学的脳波学的研究 第II編 點頭てんかんの合成 β^1-24 ACTH-Z 筋注および cortisol 大量経口投与 による治療的研究……………	725
(20)	乙第 131号	奈 良 和 子	腎疾患における線維素溶解現象の臨床的研究…	728
(21)	乙第 132号	山 下 克 子	主として胃内圧動態からみた萎縮性胃炎 の診断基準に関する臨床的研究……………	730
(22)	乙第 133号	中 野 寿 夫	非定型抗酸菌のウサギ臍丸内接種試験……………	732
(23)	乙第 134号	井 手 博 子	原発性胸部食道癌に対する 術前照射療法の臨床的研究……………	734
(24)	乙第 135号	泉 二 嘉代子	正常人及び糖尿病患者の涙液糖量に ついての研究……………	737
(25)	乙第 136号	村 山 啓三郎	Fiberoptic Oximeter (線維光学系血 液酸素飽和度測定装置) の産科領域 への応用……………	739
(26)	乙第 137号	黄 麗 珠	マウスの実験的トキソプラズマ症に 対する性ホルモンの影響について……………	741
(27)	乙第 138号	木 村 寿 子	熱, 放射線および酵素の Phytohemagglutinin に及ぼす影響について……………	743
(28)	乙第 139号	大 島 道	帯状ヘルペス性角膜炎の研究……………	745

(29)	乙第 140号	平井 福子	涙液リズムの研究……………	747
(30)	乙第 141号	亀山 和子	角膜ヘルペスにおける単純ヘルペス 皮膚反応の研究……………	749
(31)	乙第 142号	久我 みよ	1) 高血圧自然発症ラットならびに実験 的高血圧ラットにおける、フェノバルビ タールの降圧作用と睡眠時間の関連について 2) 自然発症高血圧ラットおよび実験的 高血圧ラットにおけるコレステロールの 動態に及ぼすフェノバルビタールの影響……………	751
(32)	乙第 143号	岸 澄子	メニエール病の経過と予後に関する研究……………	754
(33)	乙第 144号	熊谷 昌悌	固有鼻腔ならびに副鼻腔の病態の 相互因果関係に関する研究……………	756
(34)	乙第 145号	山口 直弘	めまいの経過に伴う眼振所見の変化……………	758
(35)	乙第 146号	佐藤 清朗	腫瘍母地照射のリンパ節転移におよぼす 影響について—術前照射の放射線生物学 的基礎に関する一考察—……………	760
(36)	乙第 147号	森川 由紀子	人成長ホルモン測定における負荷方法に 関する研究 特に glucagon 負荷につい て (第1編) (第2編)……………	762
(37)	乙第 148号	鎌田 哲郎	癌治療における同種骨髄移植の意義に ついて (特にその制癌的意義について)……………	764